

Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg ハレ=ヴィッテンベルク・マルチン・ルター大学

所在地
 Universitätspatz 10, D-06099 Halle/Saale, Germany
 ホームページ: <http://www.uni-halle.de/>

主な対象学部
 外国語学部・語学留学(独)

沿革

ハレ大学の創立は1694年で、ドイツ啓蒙主義、医学の分野で著名な学者を多数輩出した歴史のある大学。マルチン・ルター大学の名称は、ヴィッテンベルクにおけるルターの宗教改革活動にちなんで1933年に付けられた。文学、法学、経済学など7学部があり、なかでも哲学、神学、文学などが充実している。学生数は約18,000名。

特色

授業は市の中心地にある大学語学センターで行われ、ドイツ語演習科目に関しては、外国人留学生のために設けられているクラス(International)に参加することになる。また、授業と並行して、日本語を学んでいるドイツ人学生との交流や、ドイツの実情を見学する研修旅行がある。

留学開始までにドイツの生活環境に慣れるため、9月にドイツ各地で行われる語学研修に参加することを推奨する。

宿泊

学生寮に入る。各室にはインターネット接続ジャックが備えられている。

生活

ヘンデル生誕の地で、現在でも音楽・演劇の文化活動が盛んで、コンサートなどにも気楽に行ける。語学センターの教員が生活面でも助言をしてくれる。

条件

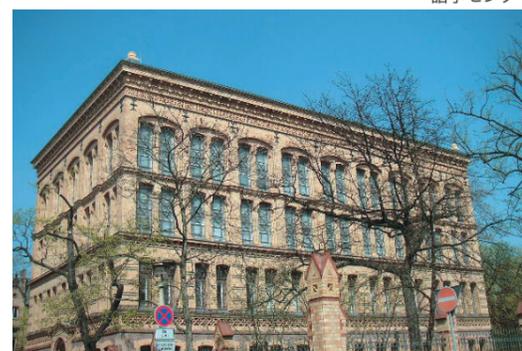
留学前までにドイツ語基礎演習Ⅲを修了し、CEFR・B1試験に合格または同等の能力を持つと判断される者(ZD試験合格者等)、かつ自立的に生活できると判断される者。なお、条件を満たしている場合でも、単独留学と変わらない環境で勉強することになるので、留学先、留学期間等についてドイツ語・ドイツ文化専攻で指導する場合がある。

留学時期

2年次第2学期から1年間(定員3名)。(冬学期:10月~2月/夏学期:4月~7月)



語学センター



図書館



大学本館



寮

ハレでの一年

外国語学部ドイツ語・ドイツ文化専攻 2015年留学 弓削 裕之

私は一年間ドイツのハレに留学しました。ハレと言えばあの有名な音楽家のヘンデルが生まれた場所でもあります。街の中心には大きな聖母教会があり、それを見ているようにヘンデルの像が建てられています。街の雰囲気はとても良く住んでいるのは大体ハレ大学の学生か老人がほとんどです。

前期は週に2回のドイツ語の授業を4つ受けていました。無料の授業と有料の授業があって私はどちらも受けました。ハレではドイツ語の授業を他の国の人達と受けます。アジアから来る人もいればアフリカ、南米から来る人もいたのいろいろな国籍の人と友達になる事が出来ました。授業ではドイツ語の勉強だけでなく様々な国の文化なども知ることができまし

た。後は英語の授業を受けたりドイツ人と一緒に講義を受けたりしてました。講義に関しては正直あまり先生の言っていることが理解できずしてました。ドイツ人は優等生が多く土日や休日はみんな図書館へ行って勉強してました。

私は大学の日本で言うサークルみたいな活動に参加してました。サッカーとバスケットボールに参加しました。基本的にドイツ人は大きくて強かったのですが優しく話しかけてくれたりしました。その他にも私は地元のバスケットボールクラブに入っていました。私以外全員ドイツ人で仲良くなれるか不安でしたが毎回話しかけてくれて、スポーツは言語のひとつでもあると思いました。

契約と解約についてはだいぶ苦労しました。契約の際にはドイツ人のパディーがほとんど手伝ってくれました。主に契約するのは寮や住民登録、あとは保険や銀行口座を作ることです。これを全部やるのに三か月近くかかり

ました。留学して間もない時なのでパディーがいなかったらなんにもできていなかったと思います。しかし解約の際にはもうパディープログラムは終わっていてあまり迷惑をかけたくなかったため自分たちでやりました。解約についての問題は山ほどありました。寮費について、間違えて知らない人に大金を振り込んでしまったこともありましたが、これらの問題を全て自分一人で解決できたことで、この一年間の成長を実感することができました。

休日は時々、近くの国へ旅行しました。私が主に行った国は、スペイン、チェコ、ベルギー、イギリスなどです。また家事についても成長したと感じます。留学して家事の大変さやそれとは逆に自分でもやればできるんだと思いました。自分の得意料理も見つけることができました。一人暮らしをしてみても親の大変さを改めて実感しました。その他に私は2週間のPraktikumを幼稚園でやりました。私は子供と関わるのが好きで日本でも子供に関わるアルバイトをしていて、就職も子供について関わる仕事

も考えているので自分にとってとてもいい経験になりました。ドイツの幼稚園と日本の幼稚園で違う点がいくつかありました。お弁当を持参ではなく給食がたり果物を頻繁にだしたりしています。あと制服は特になく、やることも決まっていなかったのでみんなやりたいことをします。ドイツの制度もいいなと思いました。

私はハレ大学で一年間留学できてほんとに幸せでした。日本では経験できないようなこともたくさんできましたし、ドイツの文化も感じ取ることができました。時にはいろんなトラブルを経験しましたがそれも自分が成長するためであつたので自立することができたと思います。今後、社会人になって自立するためのウォーミングアップだと思っています。この一年で学んだことをこれから活かしていこうと思います。